

## 旧七ツ梅酒造跡

深谷市深谷町9-12

古く元禄から、平成16年まで営業していた造り酒屋の跡地。現在は映画館や飲食店、古書店などが立ち並び、江戸の風情を残しつつ活用されています。



### ここに注目！ 3つのポイント

#### ① 看板「七ツ梅」

まず目につくのがこの立派な看板。かつては県内指折りの老舗蔵元だったようで、その威厳をいまでも感じます。

七ツ梅は、江戸時代を代表する銘酒です。



#### ② 立ち並ぶ建築群

精米蔵や釜屋の並びは、そこを通るだけでまるでタイムスリップしたかのよう！実際に映画やドラマのロケ地にも使われるそうです。



#### ③ 深谷シネマ

酒蔵を改装した、市民による市民のための映画館。「映画のなくなった街に、賑わいを取り戻す」そんな思いが多くの人の協力を呼び、オープンしました。



←トイレ部分  
はもと馬屋。



### 他にも…

シネマの中の梁や柱は、そのまま残してあります。歴史が息づく、素敵な映画館でした。



#### 東蔵↑

ホールとして使用できます。空調はありませんが、ひんやりとして涼しいのは酒蔵の長所。

#### 煉瓦煙突→

遠くからでもよく目立つ高い煙突。酒造工程でお米を炊く際に役立っていたそうです。





### 須方書店

もともとは釜屋の、歴史的な雰  
囲気を活かした古書店。  
どこか懐かしい店内は、ずっと  
本を探していただきます。



↑カウンターには、酒樽の蓋とはしご。なんだかおしゃれ！

### 精米蔵

酒造において大切なのは、やっぱ  
りお米。ここで精米をしていたよ  
うです。洋風の煉瓦造りが美しい。

ここも、貸しホールとして利用で  
きます。



向かいには、こんな看板も。  
ドラマの撮影用につけられ  
たものですが、違和感があ  
りません。

### 鬼瓦工房 鬼義

瓦屋さんも。深谷では昔から  
瓦づくりが盛んでした。  
深谷の文化を見直す一助とな  
りそうです。



### 深谷宿本舗

手づくりの手芸品が飾られた  
ギャラリー兼マーケットです。  
暖かみのある店内。

### 母屋

中山道に面した、正面のたても。  
ここに番頭がいて、お酒の販売をし  
ていたようです。  
今では手づくり豆腐を売っています。



七ツ梅の文字が入った  
羽織。渋い色合いが  
かっこいいですね。



2015年9月 訪問  
埼玉モダンたても学生レポーター  
千葉大学文学部 黒田 翔